

マツシロ株式会社

2013年度 環境活動レポート

認証・登録番号 0001034

(対象期間：2013年6月1日～2014年5月31日)



デマンド監視装置



事務所の蛍光灯をLEDに更新

作成日：2014年8月2日

更新日： 年 月 日

この紙は端紙を使用しています

□ごあいさつ

熱帯雨林気候になった日本、連日の猛暑とスコール。年々日本の気候環境が変化しているのを肌で感じるようになってきました。私たちの地球の未来に不安を覚えます。素晴らしい地球を未来永劫残していくために、私たちの小さな積み重ねが必要だと痛切に感じています。その一つの行動として倉庫と事務所の蛍光灯をLEDに変えました。一歩ずつこれからもエコアクション21を通じて環境問題に取り組み実行してまいります。

2014年7月
代表取締役社長 松城幹夫

環境方針

当社は、紙袋の製造販売メーカーとして、丈夫で何度でも使用していただける、高品質の商品を製造することに力を入れ約半世紀が経過しました。とは云え、残念ながら紙袋は最終的にはごみとなってしまいう商品です。そのため、当社は以前から常々環境を意識してまいりました。

当社経営方針の中に、「環境を意識して、地域社会に信頼され、社会に貢献する会社になります」という項目があります。この方針を追求する為、全社一丸となって積極的に、自主的に環境経営システムを構築・運用し、保全活動を追及していきます。当社の事業活動における環境負荷の低減、地域社会および地球環境の改善を行うために行動指針を制定します。

・ 行動指針

1. 地球温暖化防止のための省エネルギー
2. 資源の有効利用
3. 廃棄物の削減
4. 有害化学物質の使用禁止
5. グリーン購入並びに環境にやさしい商品生産と企画及び販売

以上について、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- ・ 環境関連規制及び当社が約束した事柄を順守します。
- ・ 環境への取り組みを環境活動レポートとして公表します。

制定日：2005年10月21日

改定日：2012年8月24日

代表取締役社長 松城 幹夫

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
 マツシロ株式会社
 代表取締役社長 松城 幹夫
- (2) 所在地
 本社/工場：大阪府東大阪市角田1丁目10番8号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 製造課工場長：南野 幸伸 TEL：072-962-1431
 担当者 製造課工場長：南野 幸伸 TEL：072-962-1431
- (4) 事業内容
 紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売
 雑貨小物の製造・企画・販売
 主要製品：紙・ポリプロピレン完全分別紙袋、ポリプロピレンビニール被せ紙袋、
 レジかご対応バッグ(エコマイラインバッグ)、環境対応買い物袋 等
 ホームページ：<http://www.m-elitebag.co.jp>
- (5) 事業の規模
 主要製品生産量 286 トン/年
 従業員 11 名
 本社/工場延べ床面積 3,976 m²
- (6) 事業年度
 6月～5月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：マツシロ株式会社
 活動：紙袋及び袋物全般の製造・企画・販売

□環境目標とその実績

本社/工場における主要な環境負荷と環境目標及びその実績は次のとおりです。

項目	年 度	2013 年度		2014 年度	2015 年度	
		2008 年度 (基準年)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の省エネ (0.355kg-CO ₂ /kwh)	(kg-CO ₂)	48,762	34,133	23,180	33,646	33,158
自動車燃料の削減	(kg-CO ₂)	18,974	12,333	9,809	12,143	11,954
二酸化炭素排出量合計 (kg-CO ₂)		67,736	46,466	32,989	45,789	45,112
可燃廃棄物の削減	(kg/年)	8,097	3,644	2,880	3,563	3,482
コピー用紙の削減	(kg/年)	479	287	105	283	278
一般廃棄物排出量合計 (kg/年)		8,576	3,931	2,985	3,846	3,760
節水	(m ³ /年)	608	152	80	146	140
環境配慮製品の販売促進	(万円/年)	7,000	7,280	6,193	7,350	7,420

※有害化学物質の使用禁止は、製品への環境配慮として取り組む

※グリーン購入は、製品への環境配慮及び電力の省エネ、自動車燃料の削減手段として取り組む

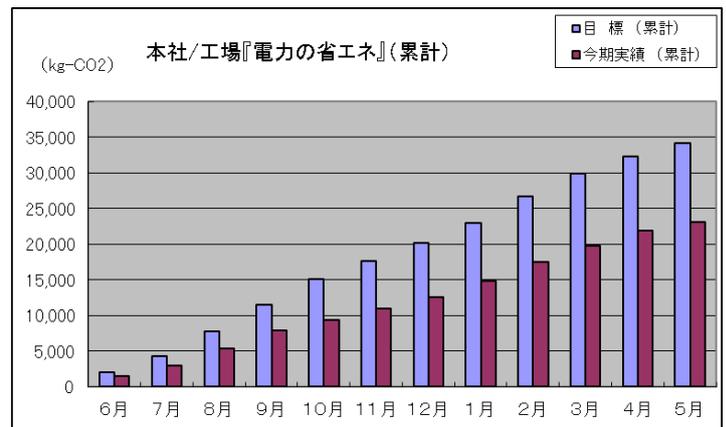
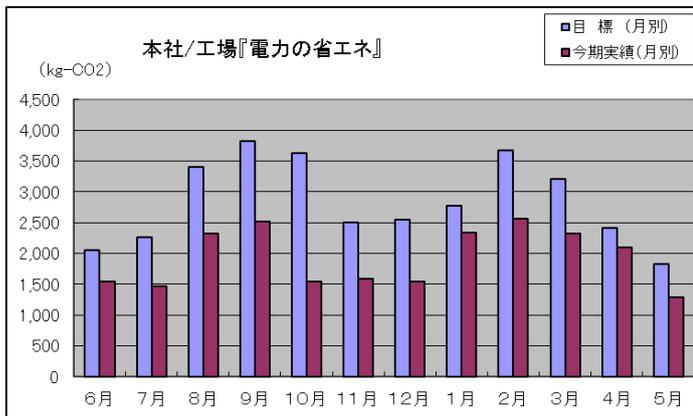
【エコアクション活動板】



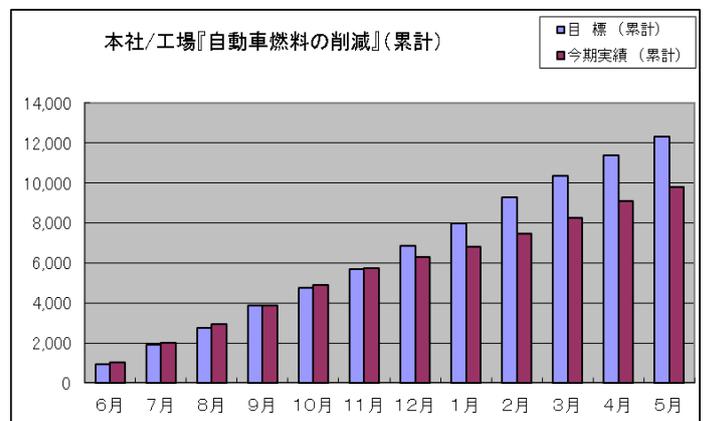
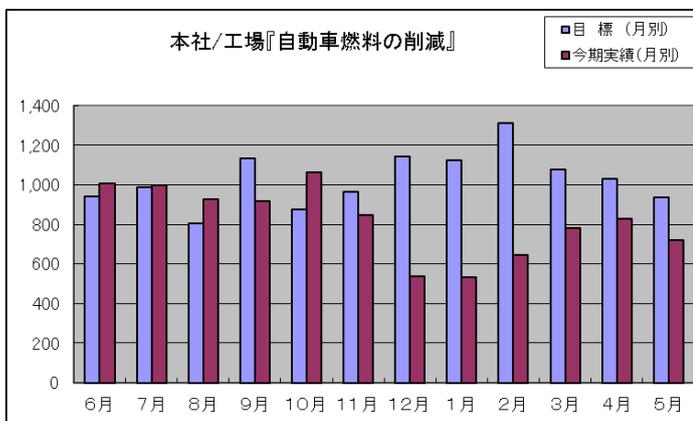
□環境活動の取り組み計画と評価

本社/工場

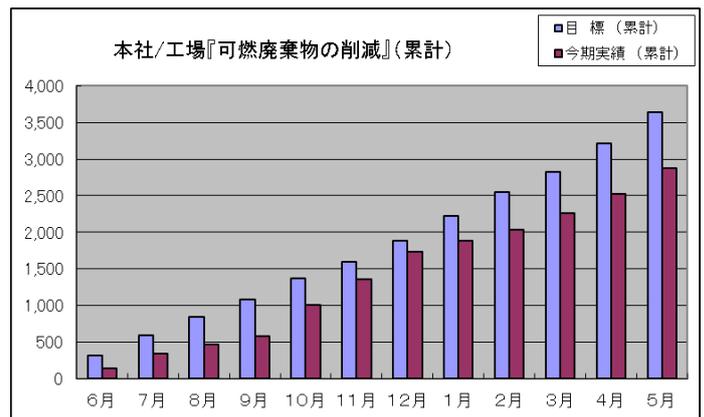
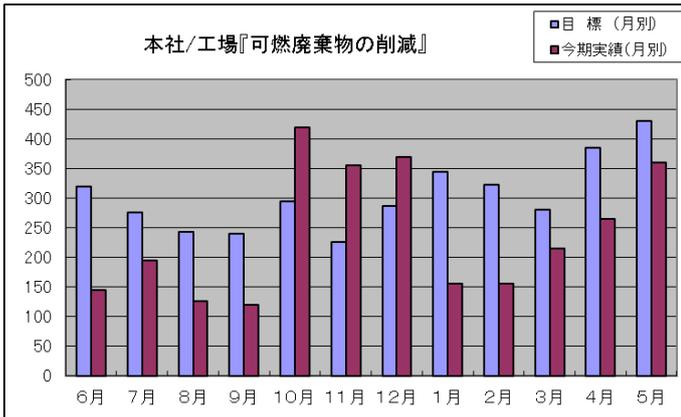
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
①電力の省エネ（基準年度比▲30%） ・デマンド監視装置導入 ・照明を省エネタイプに更新 ・エアコンを省エネタイプに更新 ・省エネ機器の導入	基準：48,762kg-CO2 目標：34,133kg-CO2 実績：23,180kg-CO2 達成率：147.25% 基準年度比：47.54% 52.46%（削減）	（目標達成） デマンド監視装置導入や照明器具をLEDへ更新するなど、節電へ向けての取り組みがあった1年でした。 今後もこまめな節電にも注意を払い取り組んでいきます。 2014年度目標数値は2013年度を基準年とします。



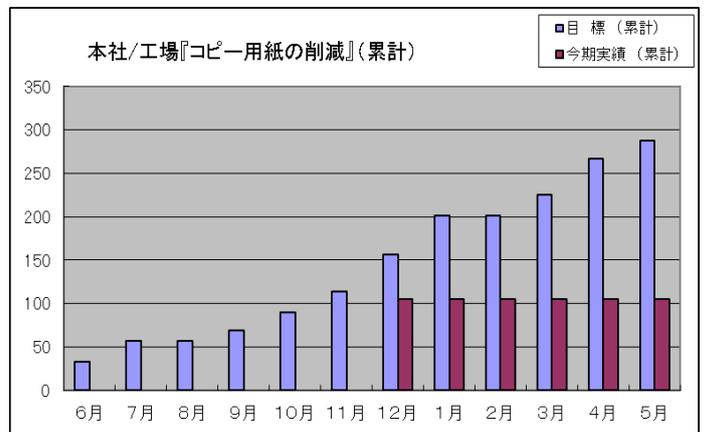
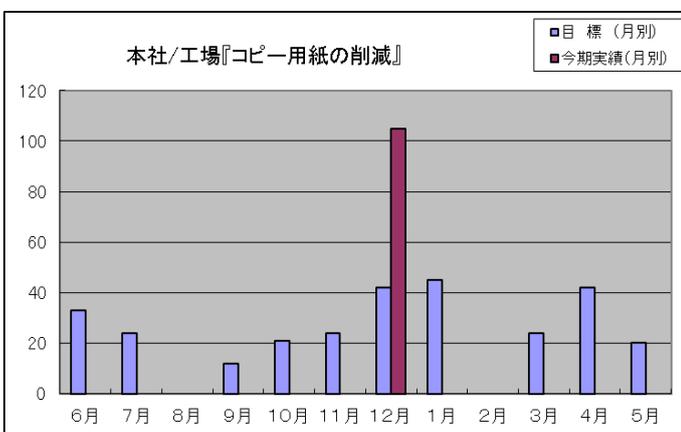
取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
②自動車燃料の削減（基準年度比▲35%） ・営業ルート効率化 ・カーナビ導入 ・低燃費車に更新	基準：18,974kg-CO2 目標：12,333kg-CO2 実績：9,809kg-CO2 達成率：125.73% 基準年度比：51.70% 48.30%（削減）	（目標達成） 計画的に効率よく使用し、出来るだけ車の使用量を減らした。 今後も継続します。 2014年度目標数値は2013年度を基準年とします。



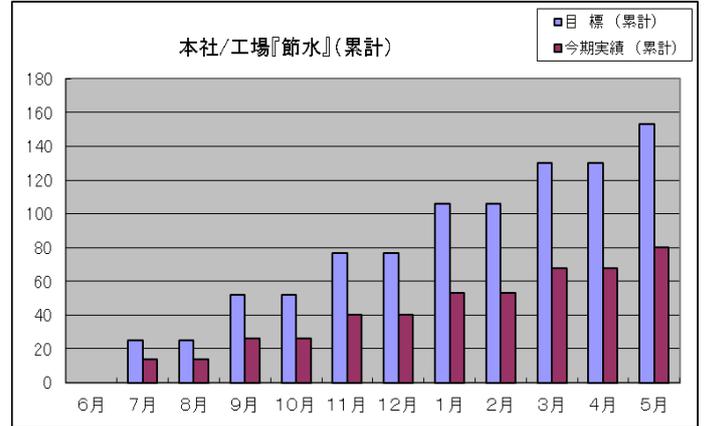
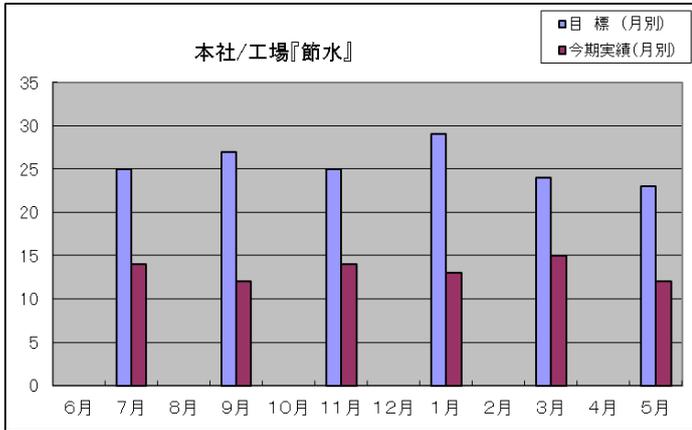
取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
③可燃廃棄物の削減 (基準年度比▲55%) ・ゴミの分別と削減 ・製袋ミスの削減	基準：8,097kg 目標：3,644kg 実績：2,880kg 達成率：126.53% 基準年度比：35.57% 64.43% (削減)	(目標達成) 外注へ出す事により社内での製袋及び化粧断ちが減りゴミが減った。 今後、一般ゴミの分別と削減及び製袋・断裁ミスを削減します。 2014年度目標数値は2013年度を基準年とします。



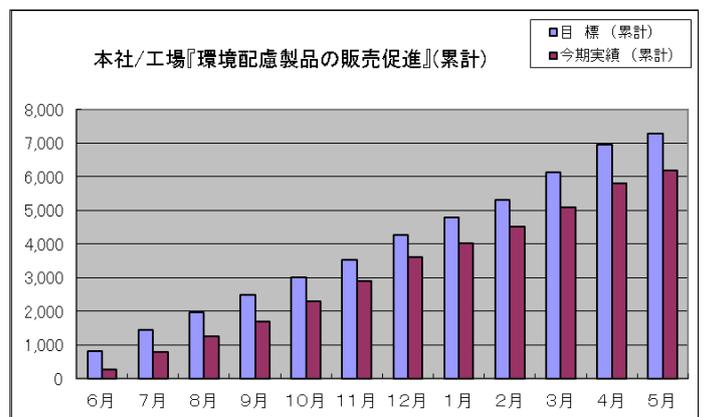
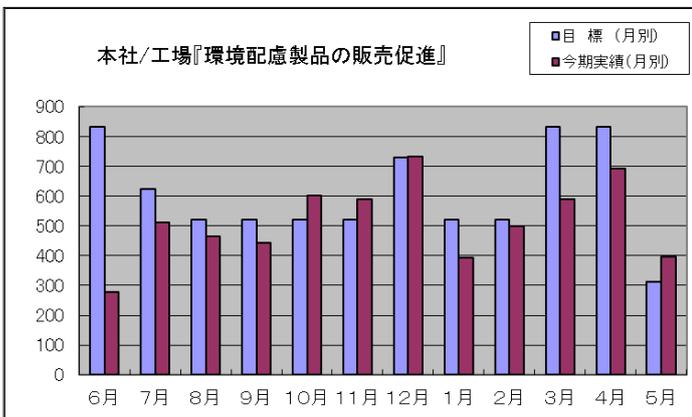
取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
④コピー用紙の削減 (基準年度比▲40%) ・端紙の使用 ・ミスコピー及びミスプリントの防止 ・ペーパーレス化の推進	基準：479kg 目標：287kg 実績：105kg 達成率：273.3% 基準年度比：21.92% 78.08% (削減)	(目標達成) カタログ作成や会議資料作成が減り使用量が大幅に減った。 また、端紙やFAXの裏紙を使用することによる削減も大きい。 今後、コピーではなくスキャンで資料保管をするようにする。 2014年度目標数値は2013年度を基準年とします。



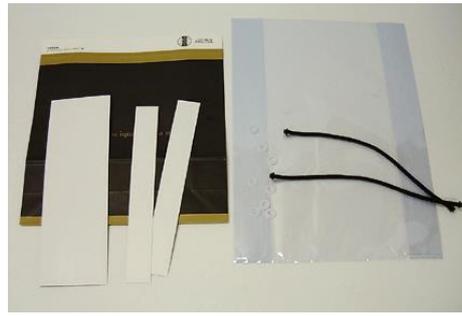
取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
⑤節水 (基準年度比▲75%) ・雨水利用による植木の水やり ・節水弁(バルブ)取付け	基準：608 m ³ 目標：152 m ³ 実績：80 m ³ 達成率：190% 基準年度比：13.16% 86.84% (削減)	(目標達成) 製袋機の稼働率削減に伴い、水の使用量が減った事で、目標達成となった。 2014年度目標数値は2013年度を基準年とします。



取り組み計画	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
⑥環境配慮製品の販売促進 (基準年度比+4%) ・エコマーク取得 ・有害化学物質の使用禁止 ・再生紙の使用 ・新商品の開発	基準：7,000 万円 目標：7,280 万円 実績：6,193 万円 達成率：85.07% 基準年度比：88.47% 11.53% (減少)	(目標未達成) エコマーク取得準備継続中。 有害物質を含むボンドの使用禁止は引き続き継続。 新製品開発による売上アップを図る。 2014年度目標数値は2013年度を基準年とします。



【紙とポリプロピレンに完全分別可能商品】



【レジかご対応バッグ エコマイラインバッグ】



【環境対応買い物袋 かんたんバッグ】



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規	適用される事項	本社/工場
廃棄物処理法	一般廃棄物	○
騒音規制法	製袋機・断裁機	○
容器包装リサイクル法	包装資材商品	○
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機	○廃棄無し
フロン回収・破壊法	業務用エアコン	○廃棄無し

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

以上

□代表者による全体の評価と見直し

不要自動車1台の削減、仕事の効率を上げて残業を減らすことによって電気の削減ができました。次の取り組みは照明の一部をLEDに変更することで大幅な削減を予定しています。目標数字を変更して目標に向かって取り組む姿勢が次の行動につながると確信しています。全員で次なる目標に向かって進んでいきたいと考えます。

□節電活動の紹介

事務所で行っている、節電への取り組みをご紹介します。



冷房の温度を、27℃⇒28℃へ
(外気に比べれば十分涼しいです)



事務所と倉庫の一部の蛍光灯をLEDに更新
(とても明るいです)



サーキュレーターで空気を攪拌
(隅々まで冷気が行き渡ります)



デマンド監視装置による電気使用量監視
(目標電力を60kwから55kwに下げました)